

フランスを代表するインディペンデント・ファッション誌「Purple（パープル）」の
初代アートディレクターを15年間務めた重鎮クリエイター
Christophe Brunnquell（クリストフ・ブルンケル）をクリエイティブディレクターに起用！

パルコ 2026年AWシーズン広告公開

約100年前のフランス人哲学者による“日本人論”を現代のパルコの広告で表現。
パリ郊外の洋館を舞台に、過去と未来、西洋と東洋が交差する。

**AUTUMN****WINTER**

株式会社パルコ（本部：東京都渋谷区）は、2026年AUTUMN/WINTERシーズン広告を公開しました。
クリエイティブディレクターには、フランスを代表するインディペンデント・ファッション誌「Purple（パープル）」の初代
アートディレクターを15年間務めたヨーロッパの重鎮クリエイターChristophe Brunnquell（クリストフ・ブル
ンケル）を起用いたしました。

本広告のテーマは「**NOSTALGIC FUTURE（ノスタルジック フューチャー）**」。これは、過去のことが、まるで
未来かのように未知なる新鮮な魅力に感じたり、その一方で、新しく出会ったものになぜか懐かしさを覚えることを表
現しています。このコンセプトは、クリエイティブディレクターであるクリストフ・ブルンケルの曽祖父であるフェリシアン・
シャレー著書「LE COEUR JAPONAIS（ル コール ジャポネ）日本人の心」をベースにしており、時代を超えて存
在する日本人の美徳、西洋と東洋の魂の交流が今回のクリエイティブの核となっています。

【PARCO 2026AW シーズン サイト】<https://parco.jp/style/>

【本件に関するお問合せ】

パルコ広報事務局（株式会社イニシャル内） 担当：金海・昇・岸本 E-mail：parco@vectorinc.co.jp TEL：03-6821-5730
株式会社パルコ 宣伝部 町田（machi-mizu@parco.jp）西浦（nisi-kiwa@parco.jp）

【 2026AUTUMN広告：ムービーFULL（1分）・SHORT（15秒） 】



シーズン広告特設サイトのほか、以下Youtubeリンクからもご覧いただけます。

Youtube : <https://youtu.be/t0LeONoyaus>

【 2026AUTUMN広告：メインビジュアル】



【 2026AUTUMN広告：アザーカット】



【 2026WINTER広告：ムービー-FULL（1分）・SHORT（15秒） 】



シーズン広告特設サイトのほか、以下Youtubeリンクからもご覧いただけます。

Youtube： <https://youtu.be/oql19QwIxi8>

【 2026WINTER広告：メインビジュアル 】



【 2026WINTER広告：アザーカット 】



【クリエイター紹介】



クリエイティブディレクター

Christophe Brunnquell (クリストフ・ブルンケル)

1969年パリ生まれ。アーティスト兼クリエイティブディレクター。

フランスのインディペンデント・ファッション誌「Purple（パープル）」の初代アートディレクターとして15年間務めた彼の功績は、インスピレーション源として、今もなお人々を魅了し続けている。2006年から2023年まで、フランスで最も伝統的な新聞『ル フィガロ』のクリエイティブ・ディレクターを務め、多数のギャラリーで自身の作品を発表。ブルンケルの表現はコンセプチュアルアート、写真、ドローイング、コラージュなど多岐に渡る。2023年には、パリの国立ピカソ美術館で開催されたピカソ没後50周年記念の展覧会「オ・ド・フェール、マ・ミニョンヌ」にて、ソフィー・カルの芸術監督を務め、2025年に自身の家具ブランドをローンチした。

<https://www.instagram.com/christophebrunnquell>

【コンセプト】

NOSTALGIC FUTURE

2026年AWシーズン広告のコンセプトは「NOSTALGIC FUTURE」です。NOSTALGICとFUTUREは、一見相反する言葉が並ぶようですが、これは過去のこととまるで未来かのように未知なる新鮮な魅力に感じるようなこと、その一方で、新しく出会ったものになぜか懐かしさを覚えることを表現しています。例えば、現代においてスマホカメラではなく、あえてアナログなフィルムカメラやデジタルカメラで撮影した写真をSNSでアップすることであったり、古着という我々が知らない過去のストーリーがある服で着飾ることなどがあるかと思います。このように現代の私たちが過去に魅力を見出し、過去をインスピレーションとアイデンティティの源泉にしていることを、本広告では表現しているのです。

本広告のコンセプトのベースにあるのは、クリエイティブディレクターであるクリストフ・ブルンケルの曽祖父であるフェリシアン・シャレー著書です。「LE COEUR JAPONAIS（ル クール ジャポネ）日本人の心」というこの本は、約100年前に日本を旅して日本人の精神性に感化されたフランス人のフェリシアンが綴ったものです。時代を超えて存在する日本人の美德、西洋と東洋の魂の交流が今回のクリエイティブの核となっています。

コンセプト コピー

風のゆらめき、花の散るはかなさ、季節のうつろい、まどろむ光と色彩。
静かに、流れるように移り変わるさまに、美しさや愛おしさを見つめる。

そこには何気ない、日常にひそむ非日常の瞬間を、一瞬の輝きとして写した風景が広がる。

未来を追いかけるような、せわしない時代を生きるわたしたちにとって、
失いかけていることかもしれないけれど、海の向こうの人たちは、
その美しい心の風景こそが、「日本人の心」だという。

100年もはるか昔に、フランスの哲学者にして思想的ジャポニズムの先駆者
フェリシアン・シャレーが綴った「LE COEUR JAPONAIS（ル クール ジャポネ）日本人の心」
という1冊の本との出会いによって、感情を揺さぶられたわたしたち。

東から西へ、そして西から東へ、海をこえて、時をこえて。
現在から過去へ、そして過去から未来へ、世代をこえて、時代をこえて、響きあう「日本人の心」。

NOSTALGIC FUTURE 新しい過去に想いをはせて……。
NOSTALGIC FUTURE 懐かしい未来に希望をのせて……。

【クリエイティブディレクター Christophe Brunnquell インタビュー】

—今回のキャンペーン広告に込めた思いを教えてください

「NOSTALGIC FUTURE」とは、古びて見えるものの中に新たな価値を見出し、それを通して新しい可能性を想像することです。ノスタルジアは過去に属するものであり、フューチャーはまだ存在しないものを指します。しかし、未来は常に、私たちより前に存在した記憶、伝承、そして物語から築かれるものだとは私は信じています。

このキャンペーンはまさに、記憶と未来像の接点を探求しています。テクノロジー、美意識、そして文化的な習慣が進化しても、ある種の感情は時代を超えて残ることを私たちに思い出させてくれます。親しみやすさと革新性の間の緊張感こそが、私にとって最も心に響くものです。



—クリストフさんにとっての「ノスタルジックフューチャー」とはどんなことですか？

芸術的な方向性は、できる限り自伝的であるべきだと私は確信しています。文学と同じように、1万人に向けて書こうとしても誰にも届かないかもしれませんが、たった1人に向けて書けば、結果的に1万人に届くかもしれません。

曾祖父のフェリシアンは哲学者であり作家でした。旅や著作、特に1927年に出版された『日本人の心』を通して、日本に深く魅了されました。私たちが個人的に経験したことのない時代にノスタルジーを感じることができるというのは、実に興味深いことです。

そういう意味で、ノスタルジアは単に過去を振り返ることではなく、未来を想像するための創造的な力となるのです。



—お気に入りのシーンや撮影時に印象的だった出来事がありますか？

撮影で最も印象に残っているのは、過去からインスピレーションを得た要素と未来を見据えた要素が、セット上でどのように融合していったかということです。スタイリング、照明、そして雰囲気、特定の時代に当てはめることができないような感覚を生み出し、それが特に刺激的でした。

その感覚は、「NOSTALGIC FUTURE」というコンセプトそのものを反映していました。ある瞬間には、まるで異なる時間軸が同じイメージの中に共存し、記憶と期待が自然に対話しているかのようでした。

【スタッフクレジット】

Creative Director / Art Director : Christophe Brunnquell
Photographer : Julia Champeau
Stylist : Sabina Schreder
DOP : Nicolas Jardin
Hair Stylist : Natsumi Ebiko
Make up : Juri Yamanaka
Model- Male : Dean Wu
Model- Female : Faye Thomas
Model- Female : Anne Christina
Production in France : Ayako Shuto(LE CŒUR JAPONAIS)
Production Manager : Nobuyoshi Yamaguchi(browny inc.)
Producer : Kentaro Okuzawa(SWAG HOMMES / browny inc.)
Produced by PARCO



【本件に関するお問合せ】

パルコ広報事務局（株式会社イニシャル内） 担当：金海・昇・岸本 E-mail : parco@vectorinc.co.jp TEL : 03-6821-5730
株式会社パルコ 宣伝部 町田 (machi-mizu@parco.jp) 西浦 (nisi-kiwa@parco.jp)